

令和7年度第1回福岡県性暴力対策会議議事要旨

1 日時

令和7年11月14日（金）10時00分～10時50分（オンライン会議）

2 出席者

参考資料4「令和7年度福岡県性暴力対策会議委員名簿」参照

欠席：大上委員、福井委員、瀬戸委員、野村委員

代理出席：鷺頭委員

3 議事概要（●は委員の質問・意見、◎は座長の発言、→は事務局の回答）

(1) 議題1「座長の選出について」

資料1「福岡県性暴力対策会議設置要綱」により、事務局から説明を行った。互選の結果、松浦委員が座長に選任された。

● 異議なし

(2) 議題2「性暴力根絶条例に基づく具体的施策の実施状況について」

議題3「性暴力根絶に向けた取組等の効果の把握について」

資料1「性暴力根絶条例に基づく具体的施策の実施状況について」、資料3「性暴力根絶のための学習用動画周知チラシ」について事務局から説明し、性暴力根絶のための学習用動画（ショート動画）を投影した。資料2「性暴力根絶に向けた取組の効果の把握について」事務局から説明を行った。

● 資料2「性暴力根絶に向けた取組の効果の把握について」2（1）①の効果指標「性暴力対策アドバイザー派遣実績数」には、私立学校や新しい形態の学校も含むのか。

→ 私立学校やその他の学校も含んでいる。

● 資料1「性暴力根絶条例に基づく具体的施策の実施状況について」「1 福岡県における性犯罪の現状」の「性犯罪被害発生率」の全国順位が下がっていることは素晴らしいが、何が奏功しているのか。

◎ 何か一つの施策に起因する等、直接的な因果関係を考えるのは難しく、また、他の都道府県との相対的な位置でもある。しかし、条例に

基づく取組は多面的な影響を及ぼし、一定の功を奏しているといえるのではないか。

- 動画を作成するにあたり工夫した点などがあれば教えてほしい。

→ いろいろな県民の方に性暴力を自分事に捉えていただくことを目的に、ストーリーやメッセージを考えた。被害にあった方が不愉快に感じないように、性暴力被害者支援センターに確認いただき、アイデアを出していただいた。

- 動画の広報はTiktokでも行うのか。

→ Tiktokも含め効果的なSNS広報を検討していく。

- 被害者支援センターの動向として、学校現場での性暴力が増えてきているという印象があるが、学校の初動が早ければ被害の影響が少なく済むケースがある。県が作った「学校における性暴力事案対応マニュアル」がどの程度浸透しているか、研修などを行っているのか、スクールカウンセラーの状況も含め、学校での性暴力の対応について、情報が知りたい。

- スクールカウンセラー協会には、アドバイザー派遣事業専門委員会の委員もあり、研修などで取り上げているところ。また、性暴力の対応に慣れていないスクールカウンセラーに対して、熟練したスクールカウンセラーがアドバイスする体制をとっている。

◎ 初動の前段階として、学校が被害を把握するプロセスも様々なものがあり、注意深く見ていく必要がある。